

学生ニーズ聞き取り調査「授業外学習を推進するために必要なこと」

2019年4月 教育支援センター

授業外学習は単位の実質化に欠かせない要素である。本学の授業外学習の状況については、今回の認証評価でも指摘されており、その推進のための継続的な取り組みが必要である。その一環として、今年度の学生ニーズ聞き取り調査では、学生が授業外学習を進めるために有効な方法についてインタビューを行う。

時期：2018年12月～2019年1月上旬

対象者：各学部5～10名程度

方法：グループまたは個別でインタビューを実施

インタビュー内容：おおよそ次のことを含めてください。

- 1) 授業外学習の内容（予習・復習の他にしていること）
- 2) e-ラーニングの利用状況と授業学習のための要望
- 3) 授業外学習をよくする授業の特徴
- 4) 授業外学習をしない授業の特徴
- 5) 授業外学習をより行いやすくするために何が必要か
- 6) 本学と他大学のシラバスの授業外学習についての記述の比較

以下の通り実施されたことが報告された。

外国語学部教員1名、学生10名

日本文化学部教員1名、学生10名

教育福祉学部教員1名、学生6名

看護学部教員2名、学生8名